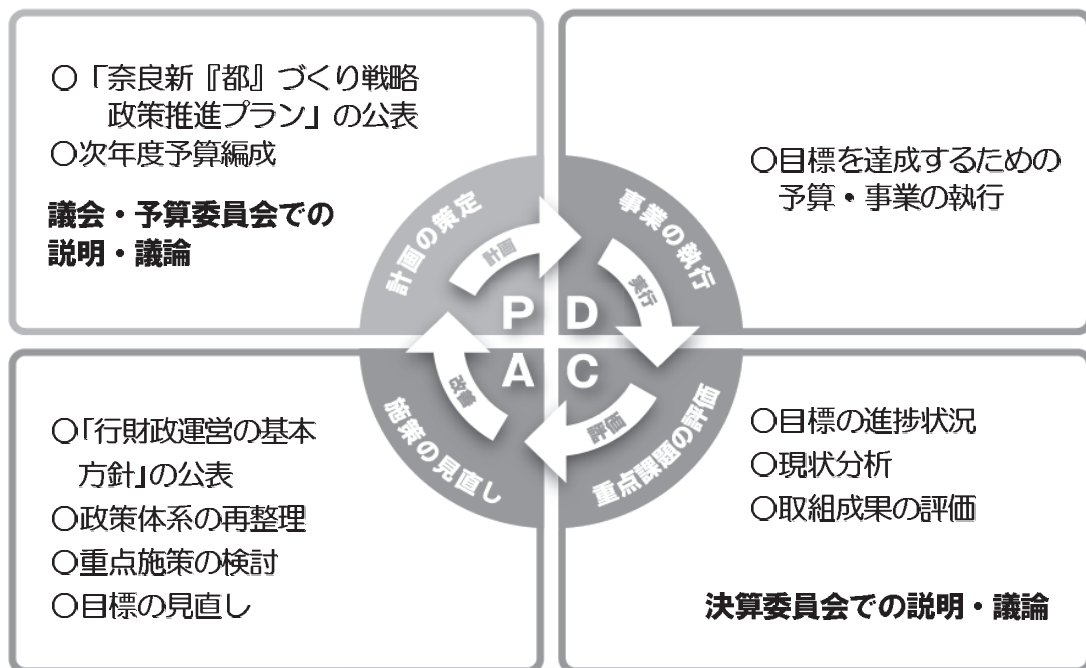


はじめに

(1) マネジメントサイクルの推進

- 奈良県では、「地域の自立を図り、暮らしやすい奈良を創る」ことを県政の目指すべき姿とし、知恵と工夫を凝らして、直面する県政諸課題に取り組んでいます。しかしながら、戦後大阪のベッドタウンとして発展してきた本県には、「人口減少」「高齢者の増加」「奈良で育った子ども達の働く場の確保」等、成熟したベッドタウンにおける諸課題も数多く存在しています。
- これらの状況を踏まえ、将来の県勢発展に向けた施策を実現するため、これまでの県の取組による成果の検証を徹底しつつ、県民ニーズを踏まえた真に有効な施策の実現に努めていく必要があります。
- そのために、各種指標による現状分析や取組の評価、これらを踏まえた適切な指標による具体的な目標設定等を、予算編成や事業の執行に的確に反映していくというマネジメントサイクルの取組が必要となります。(下図参照)



(2) 「重点課題に関する評価」について

- 行財政運営の改善・見直しのために、「CHECK(評価)」はマネジメントサイクルにおける重要な要素です。今年度は、『奈良新『都』づくり戦略 政策推進プラン』で示した「目指す姿」(政策目標)等について、令和元年度までの取組を分析・評価するとともに、課題を明確化した上で今後の取組方針を整理し、『令和元年度 重点課題に関する評価』としてとりまとめました。
- 今回の評価結果を踏まえ、重点的に取り組む施策を検討し、次年度の予算編成等に着実に反映させていくとともに、新型コロナウイルス感染症に打ち勝つ力強い奈良県を目指します。